

優 し さ が 舞 い 降 り る 、 奇 跡 の 島 。

ゆるやかに流れる時間の中で、傷ついた男は穏やかに癒された。

インフィニティ

波 の 上 の 甲 虫

infinity

東 儀 秀 樹

奥 菜 恵

原 田 喧 太

高橋巖第1回監督作品

製作:藤村哲哉+大野誠一+岡山延夫 企画:丸茂日雄+松橋直三+田中尚英+大前毅 プロデューサー:田中和彦+竹本光明+公野輪 協力プロデューサー:塩谷岩夫 次倉雄子+大里健博 原作:いとうせいこう 監督:高橋巖 脚本:高木弓芽 音楽:東儀秀樹 撮影:八尋恒存 照明:田中公臣 録音:横溝正徳 美術:池谷倫克 編集:矢船陽介 制作協力:コダイ 技術協力:オムニバス・ジャパン 製作:ギャガ・コミュニケーションズ+WOW+メディアファクトリー+パルシステム21 後援:フィリピン観光庁 協力:サンヨーインターナショナル+かもめツアー 配給:KUZUエンタープライズ

幻惑のような、微熱のようにけだるい空気。

疲れた魂を抱えた男は奇跡の中で穏やかに癒された…。

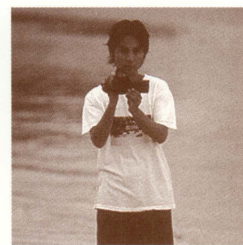
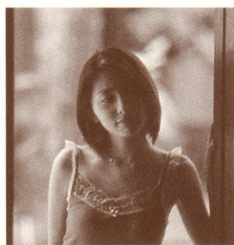
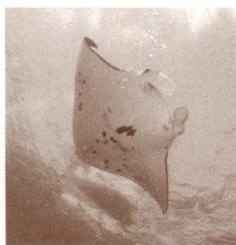
雅楽界の貴公子・東儀秀樹が映画初主演&音楽プロデュース！

南の島に流れる美しい雅楽の調べ。アジアンティストあふれる全く新しい映画が誕生した。

癒しを求め深く暗い淵をさまよう主人公を演じるのは、これが映画初出演にして初主演となる雅楽界の貴公子・東儀秀樹。幻想の世界へ迷い込み、孤独がやがて安らぎへと変わっていく男の心情を確かな存在感で見せてくれる。さらに、音楽プロデュースも担当。日本の伝統音楽のルーツである“雅楽”が全編を通して流れ、南国の魅惑的な風景との見事な融合を果たしている。また、奥菜恵が“少女”と“娼婦”という物語のカギとなる2役を熟演。そして、ミュージシャンであり、女優・原田芳雄を父に持つ原田喧太が自然体で“タカハシ”を演じる。心にしみ入る脚本をてがけたのはOL脚本家である高木弓芽。特撮とSFXの両方に精通している高橋巖が初監督。是枝裕和監督の『幻の光』『ワンダフルライフ』で助監督を務めた経験が、確かな演出力と美しい映像美に結晶した。

<物語> 昼と夜が一つになる日、「現実」は「虚構」になり、「虚構」は「現実」となる。

人を傷つけ、自らも傷ついてしまったライター高橋は、本当にやりたかったこと、“小説”を書くため、南の島を訪れた。小説の主人公は、タカハシ。映画監督志望で、この島に“タカラモノ”を探しにやってきた、陽気で純粋な男だ。一方、高橋はホテルの部屋にこもり、休む間もなく小説を書き続けている。そんなある日、高橋は“雪を見たことがない”日系人の娼婦マリアと出会う。タカハシもまた砂浜で民族舞踊を踊っている美しい少女に出会った。やがて、“高橋”と“タカハシ”の時空、現実と虚構の世界が交錯しはじめ、島は美しい奇跡を引き起こす…。



インフィニティ=∞の形をした南の楽園、フィリピン・ボラカイ島。

24P-HDカムを駆使した幻想的な映像美にトリップ！

映画の舞台となったのは、セブ島で有名なアイランドリゾートの国、フィリピンの南西に浮かぶ小さな島、ボラカイ島。世界一美しいと言われる、4キロにも渡って続くホワイト・サンド・ビーチ、透明度の高い青い海、そして幻想的なムードを漂わせるマリア像はまさに絵葉書から抜け出したかのよう。素朴でゆったりとした贅沢な時間が流れる、ボラカイ島にしかない独特な風景やムードが本作の味わいを一層深めている。さらに、ジョージ・ルーカスが『スター・ウォーズ：エピソード2』で使用する24P-HDカムを世界に先駆けて全編駆使して撮影し、美しく幻想的な映像世界を創出。空を飛ぶマンタや波の上の甲虫、南の島に降る雪など、ファンタスティックな映像の数々が穏やかな感動を呼び起こしてくれる。

(2000年/日本映画/35mm/カラー/アメリカンビスタ/DTS STEREO/1時間59分)

プロデューサー：田中和彦+竹本克明+公野勉 原作：いとうせいこう 監督：高橋巖 脚本：高木弓芽 音楽：東儀秀樹 撮影：八巻恒存 照明：田中公臣 録音：横溝正俊 美術：池谷仙克 編集：矢船陽介
スチール：熊谷聖司 製作：ギャガ・コミュニケーションズ+WOWOW+メディアファクトリー+ベルシステム24 後援：フィリピン観光省 協力：サンヨーインターナショナル+かもめツアー

©2000 GAGA COMMUNICATIONS, INC. WOWOW, INC. MEDIA FACTORY, INC. BELLSYSTEM24, INC. <http://www.takahashi8.com/>

2002年

1月26日(土)
ロードショー!!

ホワイトイ泉の広場上る東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
06 (6361) 0088

▲扇町ミュージアムスクエアは2月8日(金)まで。
www.oms.gr.jp

心斎橋ソニータワーB1F
心斎橋シネマ・ドゥ
06 (6251) 3789

▲心斎橋シネマ・ドゥの上映終了日は直接劇場まで。
www.sonycinematic.co.jp/